

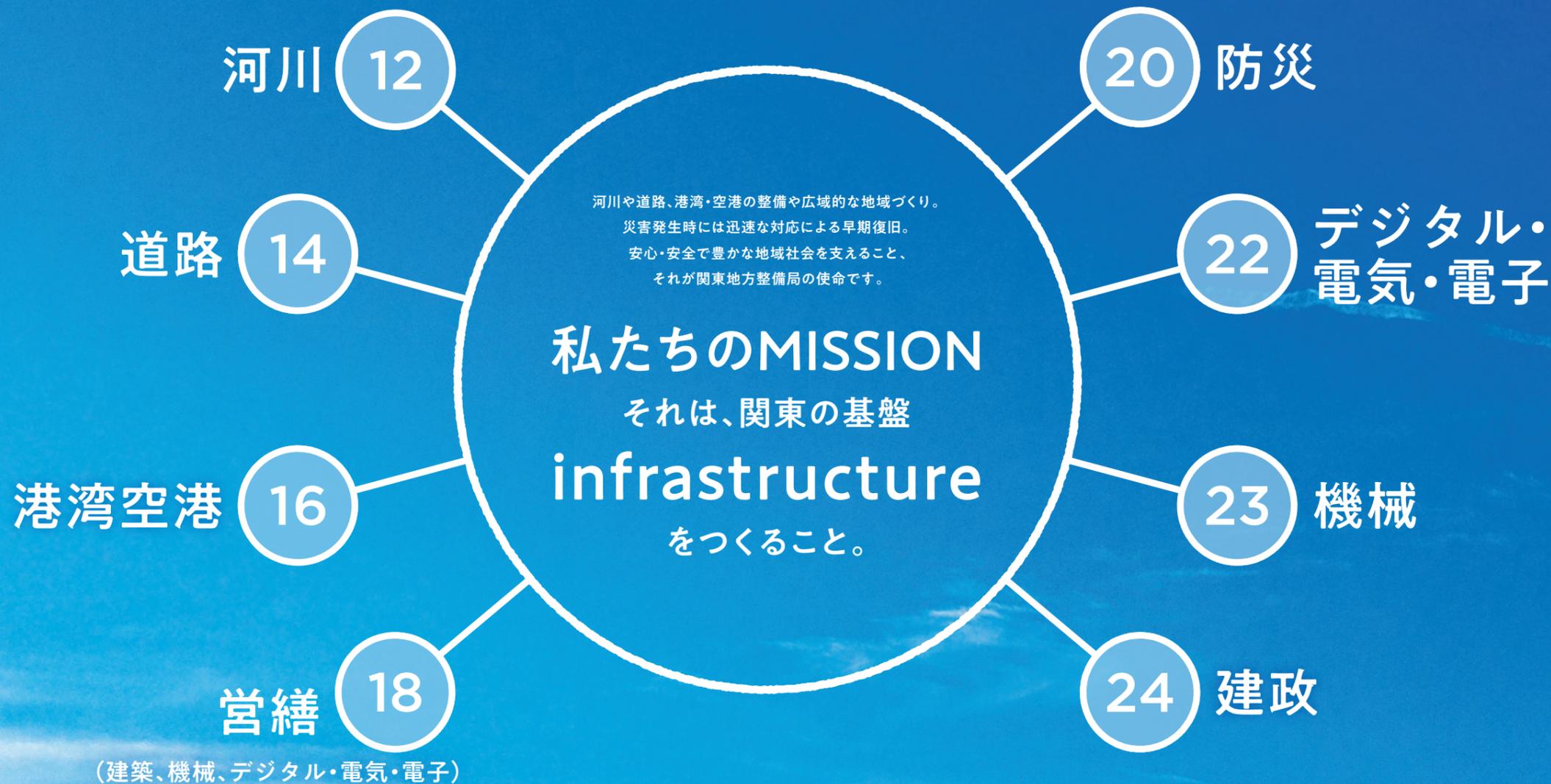
ものづくり
関東を支える景色

採用案内

Recruit Information Guide Book

*Ministry of Land, Infrastructure,
Transport and Tourism.
Kanto Regional Development Bureau.*





もくじ

関東地方整備局のBig Project

- 04 DX
- 06 バスタプロジェクト
- 08 国営公園プロジェクト
- 10 インフラツーリズム

関東地方整備局の仕事

- 12 河川
- 14 道路
- 16 港湾空港
- 18 営繕
- 20 防災
- 22 デジタル・電気・電子
- 23 機械
- 24 建政

関東地方整備局とは

- 25 フィールド/職員数と人員構成
- 26 仕事の流れと担当
- 27 研修制度
- 28 ワークライフバランス
- 29 育児休業取得者インタビュー
- 30 関東地方整備局の若手職員は今

行政サービスの向上と建設業における働き方改革 2つの課題を解決する「X」への挑戦

● 全国初の河川系DX出張所が挑む「課題解決型DX」へのチャレンジ

荒川下流河川事務所小名木川出張所は、令和5年4月より全国初の河川系DX出張所として、デジタル技術を駆使して河川管理の高度化を図り、行政サービスの向上と働き方改革に取り組んでいます。

同出張所は、荒川下流部の両岸合わせて約60kmの河川管理を担っており、1年365日巡視・点検により、水質事故や河川施設の損傷、時には火災といった予想もつかない事態に対応する現場の最前線。限られた職員で利用者へのサービス向上を図り、働きやすさを実現するという課題を解決するにはDXが最も有効な手段です。私たちはこれを「課題解決型DX」と呼んでいます。

● 働きやすさが行政サービスに直結し、職員のモチベーションもアップ

例えば、DX導入以前は巡視員から異状の報告を受けても、その現場がCCTVカメラの死角であれば撮影した写真を持ち帰ってもらわないと目で見て確認できず対応に時間がかかるという課題がありました。それが現在では巡視員が装着するウェアラブルカメラを通じてリアルタイムで状況を確認・判断することができ、早期の発見・把握・対応を実現しています。職員の対応時間と負担も大幅に軽減。宅配ロッカーを活用した車止めゲートの鍵の貸出、チャットボットによる問合せ対応も然りで、現場の最前線である出張所でもテレワークが可能に。働きやすさがサービス向上につながり、職員のモチベーションもアップという好循環を生み出し、それこそが課題解決型DXの意義であると考えています。

● チームで取り組む終わりなき「X(変革・改革)」。挑戦したい人を待っています

DX出張所として機能を発揮できているのは、事務所・出張所を横断したプロジェクトチームで取り組んでいることも大きな理由です。副所長をトップにさまざまなセクションからメンバーが集まり、現場をよく知る通称「DX専門調査官」も主要メンバー。それぞれの知見や知識、現場の視点からアイデアを出し合い、トップダウンではなくボトムアップで描いた未来像を提示できているからこそ、事務所全体でさらなる高度化を目指すのだと思います。豊富な経験を持ち、過去からの経緯や守らなければならないことを熟知しているベテラン職員と若手職員の発想力を合わせることで、荒川下流のDXはさらなる成長を続けていくことでしょう。

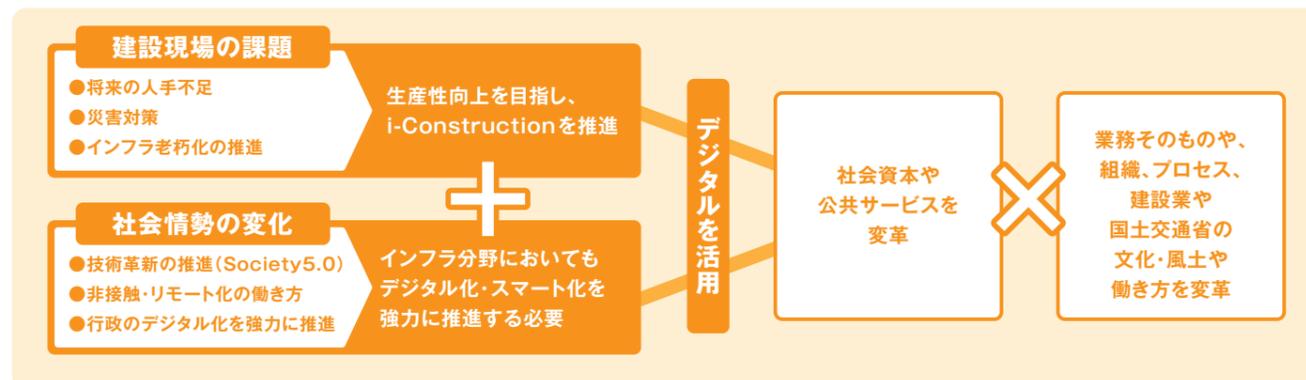
デジタル技術(D)を導入しても改革(X)ができなければ職員の負担が増えるだけ。「DよりもX」を念頭に、「いつでも どこでも 誰でも」を合言葉に、終わりなきXに挑み続けることは、失敗を恐れずいろいろなことにチャレンジできるということでもあります。そんな挑戦をしたい人の入省を待っています。



荒川下流河川事務所
DXプロジェクトチーム

DX(Digital Transformation)とは

社会経済状況の激しい変化に対応し、データとデジタル技術を活用して、国民のニーズを基に社会資本や公共サービスを変革するための取組。



いつでもどこでもだれでも 監督業務の効率化

課題解決型DX

リアルタイム 河川巡視 担い手確保 持続可能なもの

ダッシュボード

全国初の河川系DX出張所 令和5年4月運用開始

行政サービスの向上

DよりもX 変革・改革

建設業における働き方改革

デジタル河川管内図 河川管理高度化

宅配ロッカー オンライン一時使用 執務環境改善

チャットボット SRS

デジタル技術の活用



小名木川出張所の執務室。無線LAN環境も整備されDX出張所としての機能が整っている



巡視員が装着するウェアラブルカメラ(下)の映像は、リアルタイムで出張所のモニターやPCで確認でき、早期の対応が可能に

荒川下流河川事務所が推進する河川管理DXのキーワード。白い文字はDX活用によって実現すべき2つの目標。DX推進の根幹となる「DよりもX」は、その重要度に則り最も大きく表示されている

関東地方整備局のBig Project 02 バスタプロジェクト

02

みち・えき・まちが一体となった 未来空間の創造

● 「交通結節点」の整備や改良の重要性を示したバスタ新宿

関東地方整備局の道路事業は、従来の「高速道路やバイパス等のネットワーク整備」から「ネットワークをどう活用していくか」にも拡大してきています。道路と鉄道等がつながるいわゆる「交通結節点」の整備や改良が今後重要になるとの考えから生まれたのが、バスタプロジェクト。官民連携でまちづくりと一体となって拠点整備を行うことが大きな特徴です。我々道路事業者だけでは不可能なことも、連携することで実現できる、さらに良いものを生み出すことができる。それがこのプロジェクトの意義であり、仕事としてのやりがいでもあります。

● 交通・防災拠点としての意義

災害時に交通・防災拠点として機能することもバスタプロジェクトの使命です。令和3年2月や、令和4年3月に発生した福島県沖地震の際は、運休した東北新幹線の代替交通として高速バスが運行され、バスタ新宿が発着場となりました。

平常時は交通・交流拠点として人・モノの流れを支え、災害時は交通機能を確保しつつ交流の場などの空間を防災機能として活用する交通・防災拠点に転換する施設は、現代の社会的ニーズに応える重要なインフラであると考えています。

● 品川駅でもスタート「未来思考の空間」づくり

関東地方整備局におけるバスタプロジェクトは、今後品川駅が主要なステージとなります。

リニア中央新幹線の始発駅となる品川駅でのプロジェクトの特徴は、「未来志向の空間」づくり。国道15号の上空に整備する広場には「次世代型交通ターミナル」が誕生します。自動運転などの最先端のモビリティや、新たな低炭素交通の導入なども検討しています。

品川駅西口基盤整備事業はスタートしたばかりの事業ですので、これから入省される皆さんの活躍の場となることでしょう。新しい「日本の顔」となる品川駅にふさわしい未来型空間を一緒に創造していきませんか？



東京国道事務所 副所長
Junichi Onodera 小野寺 純一

バスタプロジェクトとは

鉄道やバス、タクシーなど、多様な交通モードがにつながる集約型の公共交通ターミナルを、官民連携で整備するプロジェクト。MaaS*・スマートシティとの連携、他の交通拠点との連携、新たなモビリティとの連携といった未来志向の取組や、防災・観光拠点としての機能強化等を推進。

*Mobility as a Service 地域住民や旅行者一人一人のトリップ単位での移動ニーズに対応して、複数の公共交通やそれ以外の移動サービスを最適に組み合わせて検索・予約・決済等を一括で行うサービス



鉄道線路上空に約1.5haの人工地盤を整備し、新宿各地に散らばっていた高速バスターミナルを集約した「バスタ新宿」。鉄道や国道とつながる交通結節点を整備し、みち・えき・まちが一体となった新たな空間を創出するバスタプロジェクトの代表例



関東地方整備局のエリアでバスタプロジェクトの新たなステージとなる品川駅西口では、事業が本格化



国道15号に大規模な歩行者デッキや交通ターミナルを整備。新たな「日本の顔」としての役割も期待される品川駅



最先端モビリティを導入する次世代型交通ターミナル

03

親から子へ、子から孫へ
 世代を超えて愛される公園を目指して



国営常陸海浜公園事務所
 国営公園プロジェクトチーム

● 国内屈指の花の名所

茨城県の「国営ひたち海浜公園」は、関東地方屈指の観光スポットとして知られています。一年を通して四季折々の草花を楽しめる“花の名所”です。首都圏の多様なレクリエーション需要に応えるために造られた公園ですが、実は開園から十数年ほどは茨城県内からの来園者が中心で、知名度も高くはありませんでした。年間で300万人を呼べる公園にしたい。その想いで計画をしたのが、「ネモフィラ」や「コキア」が話題の「みはらしの丘」です。関東地方全域の幅広いエリアに住まう人々に愛される公園にするために、茨城県と連携のもと、県全域から大型ダンプ20万台分に相当する量の土を集め、現在の「みはらしの丘」を完成させました。

● 公園は、「思い出が生まれる場所」

もちろん、新しく見どころを造っただけでは公園は完成しません。たくさんの方々が来てくださる魅力的な公園であり続けるには、安全管理や環境保全も不可欠です。例えば、人が多く通行する場所では、わずかな段差があるだけでも転倒の危険があります。公園での思い出が台無しになってしまうことがないように、来園者が歩く場所・目にするものを実際に自分たちで体感して整備に活かすことが、私たちのこだわりです。そのために、管理運営パートナーとして協力を得ているボランティアの方々とも積極的に交流し、動植物をはじめとする幅広い知識を学ばせていただきながら公園づくりを行っています。

● 愛される公園づくりで、人々の人生を豊かにしたい

開園から30年以上の歴史を持ち、今では「茨城県民の誇り」として名を挙げていただくことも多いからこそ、“茨城県のアイデンティティ”を表現するための開発を行った事例もあります。茨城県桜川市の協力のもと、樹木エリアに茨城県ゆかりの山桜を楽しめるスポットを造りました。これからも、ひたち海浜公園を何世代にもわたって楽しめる公園にするために、取組むべき事は尽きません。まさに、「やりたいことが多すぎて計画が追いつかない」といった状態です。公園という「場」が“心のインフラ”として人々の生活に彩りを加えていけるよう、これからもチャレンジを続けていきます。



四季折々の草花を楽しめる国営公園

国営ひたち海浜公園は、茨城県ひたちなか市にある国営公園です。計画面積350ヘクタールのうち、約68パーセントの237.1ヘクタールが開園済み。四季折々の彩り豊かな草花をはじめ、大観覧車やジェットコースターなどのアトラクションを有する遊園地、BBQ広場やアスレチックなど、様々なレジャーを楽しむことができます。



官民連携で実現する“防災×観光”の新しいかたち インフラが「街」を盛り上げる

● 防災インフラは、街を「守る」だけじゃない

ダムや堤防をはじめとする防災インフラは、地域固有観光資源として、地域の経済活性化にも寄与しています。現在、国土交通省が管理する全国100カ所以上のインフラ施設において、400を超えるツアー企画を楽しむことが可能です。関東地方整備局においても、ダム・トンネル・橋梁など様々なインフラツアーの企画を用意しています。その中で、国の防災インフラ初となる「民間運営」としてインフラツーリズムをリードしているのが、埼玉県首都圏外郭放水路です。国土交通省の重点モデル地区に選定され、自治体と民間事業者が連携して見学会や展示活動を通じた地域振興を推進しています。

● インフラツーリズムのロールモデルへ

世界有数の洪水対策モデルとして海外からも注目を集めるこの施設が、インフラツーリズムの代表的なロールモデルとしても広く知られるようになりました。若年層から高齢者の方まで幅広い方々が楽しめるよう、多彩な工夫を凝らしてツアーを盛り上げています。普段は見ることのないエリアを案内したりなど、様々な施策が奏功して参加者は年々右肩上がりです。街の人々がインフラを身近なものとして捉えるきっかけになることに加え、防災を特別なことではなく日常の延長線上にある“自分ごと”として意識づけることにもつながっています。

● 官民連携の独自モデルで地域活性

さらに首都圏外郭放水路の取組みは、地域活性・観光振興の波及効果も生んでいます。地元と協力しながら地域の賑わいを創出。SNSを介して発信された映像は国内外で大きな反響を呼び、年間7万人近い見学者が訪れています。首都圏外郭放水路は、今や日本を代表するほどの防災観光の象徴になりました。日本各地には様々なインフラや防災施設がありますが、首都圏外郭放水路のような“官民連携で防災と地域活性を両立”できれば、よりたくさんの街でこういう動きが生まれるはず。『首都圏外郭放水路がインフラツーリズムのスタンダードになる』という夢を、チーム一丸となって目指しています。



江戸川河川事務所 流域治水課
インフラツアー
プロジェクトチーム

世界最大級の防災インフラ、首都圏外郭放水路

埼玉県春日部市地下約50mに広がる首都圏外郭放水路は、全長6.3km、5つの巨大な調圧水槽とトンネルで構成される世界最大級の地下洪水対策施設です。増水した河川の水を一時的に貯留し、江戸川へ排水することで首都圏の浸水被害を大幅に軽減しています。



代表的なロールモデルへ

胴長やヘルメットを着用した本格的な見学ツアーや、プロジェクションマッピング、ライトアップ等、参加者の方々に楽しんでいただける取組を多数企画しています。



ゲームをはじめ、多彩なコンテンツで発信

若者をターゲットにした取組として、ゲームの世界に外郭放水路を再現し、施設の役割を理解できる学習コースを設けるなど、コンテンツの幅を広げています。



ハッ場ダム



北区・子どもの水辺



小松川地区・高規格堤防事業



荒川第二調節池
整備予定地

荒川第二調節池

関東地方整備局の仕事 01

河川

安心して暮らせる 基盤づくりの要。

河川、ダム、砂防、海岸保全などのハード整備、そして河川整備計画や環境保全など様々なソフト対策を通じて、人々の生命や財産を守り、水と緑と共生する幸せを提供するのが、河川事業の使命です。



2001年度採用(事務)
小林 美千代
Michiyo Kobayashi

河川部 水政課
行政第二係長

現地を見ることで理解が深まり、 仕事のやりがいを実感

私は主に河川の流水の利用に関する許可手続業務を行っています。河川管理事務所は、河川法に基づく申請書の審査や台帳管理などのデスクワークはもちろん、申請箇所の状況の確認や許可した工作物の完成検査等、作業着を着て現地に行く機会も多くあります。書類上の内容が現地でのように行われているのか、実際に自分の目で確認すると、理解が深まると同時に仕事のやりがいを感じます。直接河川利用者の方からの要望やご意見を聞くこともあり、法律などに照らして対応していますが、機械的な回答ではなく、多くの方が気持ちよく安全に河川を利用していただけよう、丁寧な対応を心がけていきたいと思っています。



2002年度採用(技術)
涌波 晶弘
Akihiro Wakunami

荒川調節池工事事務所
工務課 建設監督官

最新の工事現場で新たな風を 吹き込む人材に期待

流域治水として期待される荒川第二・三調節池の築堤・地盤改良・排水門の工事監督をしています。調整事項が多く、日々重要な判断が求められる仕事ですが、早期完成に向けて若手もベテランも全ての職員が一丸となって進めています。当事務所はICTを推進するi-Constructionモデル事務所に認定されているので、3次元設計データを活用した住民説明やWebによる現場管理など、最新技術を駆使した業務効率化を肌で感じています。リーディング事務所として全国の建設業界に建設DXを広めつつ、新たな風を吹き込む若手の出現にも期待しています。一緒に最新技術を進歩させていきませんか？



1996年度採用(技術)
池上 清子
Kiyoko Ikegami

荒川上流河川事務所
工務課 課長

みんなで力を合わせて良いものを 作っているという実感

令和元年の台風19号では、荒川上流河川事務所管内の間川流域で5か所の決壊がありました。このような被災を繰り返さないよう、間川流域緊急治水対策プロジェクトでは河道掘削と堤防整備を重点的に行っています。工事が滞りなく施工できるように地元との調整や現場の確認、施工会社の方とのコミュニケーションを大切にしています。発注図面通りに施工できないことがあっても、施工会社の皆さんと現場を見て相談しながら工事を進められることがとても楽しく、アイデアを出し合って良いものを作っていく実感があります。こうして地域の安全を守る事業に携わり経験したことを、後輩たちに引き継いでいきたいですね。



横浜市から木更津市まで環状でつなぐ圏央道【(仮称)栄IC・JCT】



道路管理【日本橋における橋梁点検】



道路管理【山梨県における除雪作業】



直径約13mの大口径シールドトンネル【横浜湘南道路】



自治体と連携した道の駅の整備【道の駅「へに花の郷おげがわ】】

関東地方整備局の仕事02

道路

経済そして暮らしの 活性化を担う。

国道等の広域的な幹線道路網の整備や維持修繕、都県道等に対する支援などを通じて、人・モノの流れを生み出し、関東全体の社会、経済を元気にすることが使命です。



2005年度採用(事務)

片山 しおり
Shiori Katayama

相武国道事務所
管理第一課 占用係長

「今求められる道路とは」を考え
実現を目指す面白い仕事

道路を通行以外の目的で使う場合、例えば広告物や電気・水道管を設置する際に安全性などを審査し、占用許可を行う業務を担当しています。また、防災や景観などの観点から、国土交通省が推進する電線共同溝事業に必要な整備計画の策定、負担金の徴収事務も行っています。

近年、歩道でのオープンカフェやトンネル上の公園など道路を積極的に有効利用しようという施策があります。暮らしに身近な道路だけに、社会情勢の変化に伴って法令や制度が目まぐるしく変化し、日々勉強の毎日。ですが、今求められているニーズに合わせてどうすべきかを考えながら進めていけるので面白く、やりがいのある仕事です。



2018年度採用(技術)

木村 匡
Takashi Kimura

川崎国道事務所
計画課

大規模構造物の完成に
携われることが一番の魅力

川崎国道事務所道路の計画・設計を担当しています。関東地方整備局の事業は規模が大きく、自分が発注した工事が完成し、出来上がった構造物を見たときは経験したことのない達成感が得られました。現在は、主に多摩川トンネルという水底トンネルの事業を担当しており、日々、設計コンサルと調整しながら設計や関係機関との協議を行っています。日本でも最大級といわれる大きなトンネルの事業に携わり、設計に自分の意見を反映できるところが責任も重い分、一番の魅力だと思います。試験区分の隔てなく能力を存分に発揮できる点でも良い職場です。興味のある方はぜひ、関東地方整備局を検討してみてください!



1990年度採用(技術)

田村 一雄
Kazuo Tamura

長野国道事務所
中部横断自動車道出張所 所長

道路管理は安心・安全を
提供し続けること

長野県内の上信越自動車道に接続する中部横断自動車道の維持管理を担当しています。高速道路の管理では一般国道に比べ走行速度が高いため、交通事故が起きた場合や走行中に不具合を起こした車両の対応に気を使います。冬期には-20℃になることもあるため、事前の凍結防止剤散布や除雪などの路面管理にも細心の注意を払いながら、24時間365日安心・安全を提供し続けています。大変なことも多いですが、パトロール時に見える浅間山や八ヶ岳連峰が絶景で、快晴の時は心が洗われますね。今後、中部横断自動車道は中央自動車道まで延伸する計画もあるので、新しい地図の創造に興味のある方は是非!



世界最大級コンテナ船入港(横浜港)



川崎臨港道路 東扇島側全景



羽田空港



滑走路地盤改良(羽田空港)



防波堤整備(鹿島港)



国際海上コンテナターミナル整備(横浜港新本牧ふ頭)



大型クルーズ船(横浜港大さん橋)



川崎港臨港道路(完成イメージ)



東京ゲートブリッジ

関東地方整備局の仕事03

港湾空港

島国日本における 人流・物流の生命線。

我が国の国民生活の安定や国際競争力を高めるために、先進的で信頼性の高い人流・物流のインフラ整備、貿易ネットワーク拠点の整備を進めることが使命です。



2020年度採用(事務)
渡邊 拓海
Takumi Watanabe
総務部 人事課
人事係

人や物の流れを支える
重要な仕事

採用以来、公共工事等の契約業務やコンテナ輸送の効率化に関する業務を行ってきました。島国でもある日本にとって、人や物の流れに港湾・空港は欠かせません。そうした重要なインフラの整備に契約担当として携わることができ、日本経済の発展に微力ながら貢献できているのではと感じました。また、コンテナ輸送の効率化・生産性向上などを目的とした実証実験の企画立案・運営に携わる機会もあり、関係者の調整に難航し苦労もありましたが、勉強となったことも多く、良い思い出です。

現在は採用に関する業務を担当し、やりがいを感じられる魅力ある職場だと自信を持ってお伝えしています。



2015年度採用(技術)
中村 悦子
Etsuko Nakamura
東京空港整備事務所
第一工務課 係長

いろいろなことにチャレンジしたい
方にピッタリの職場

東京空港整備事務所では地盤改良や舗装工事のほか、シールドトンネル工事など多様な土木工事を実施しています。また、羽田空港は滑走路や誘導路等、特別な区域での工事も多く、飛行機の運航に影響しないよう日々の工程管理や安全管理が特に重要です。工事監督を経験した際は、夜間閉鎖中の滑走路の現場で施工状況や安全管理の確認を行いました。学校で学んだことを生かしながら、羽田という特殊な環境で新しい知識も学べるのがこの仕事の面白い所です。その他にも計画・設計・積算等、インフラ整備事業全体に携わることができるのが整備局の特徴です。技術系女性職員も増えており性別関係なく働ける職場だと感じています。



1999年度採用(技術)
森川 忠泰
Tadayasu Morikawa
港湾空港部 港湾事業企画課
課長補佐

この仕事を選んで良かったと
心の底から実感

我が国の港湾は貿易量の99.6%を取り扱う国民生活を支える極めて重要なインフラです。港湾空港部では、港湾整備等のハード面の施策に加え、利用者の利便性・生産性向上を図るソフト面の施策にも取り組んでいます。施策の実現には多くの関係者の理解と協働が不可欠ですが、立場や考えの違いにより容易に理解が得られないことがあります。このような場合は、関係者がWIN-WINになることを常に心がけ、明確なビジョンと具体的な取組方針を示し、根気強く調整を続けます。その結果、関係者の理解が得られ、施策実現への道筋が見えたときに他では経験できない達成感が得られます。その度にこの仕事を選んで良かったと心の底から実感しています。



東京国税局



気象庁虎ノ門庁舎
港区立教育センター



横浜税関本館

よこはま新港合同庁舎



農林水産研修所
つくば館水戸は場研修本館



国立近現代建築資料館



富士川地方合同庁舎



明治記念大磯邸園
陸奥宗光別邸跡・旧古河別邸



明治記念大磯邸園
旧大隈重信別邸・旧古河別邸

関東地方整備局の仕事04

営繕 (建築、機械、デジタル・電気・電子)

国家機関の建築物の トータルコーディネーター。

国民の共有財産である官庁施設、教育、研修施設などの企画、設計、工事監理、保全指導を通じて、公共建築分野において常に先導的な役割を果たすことが使命です。

2023年度採用(技術)

長谷部 美冴
Misa Hasebe

営繕部 整備課 建築設計第四係 **建築**

“モノ”づくりできる楽しさ

国の機関が入居する官庁施設の工事や設計図書の審査を中心に担当しています。官庁施設は、民間建築物の先導的な役割を担う一面もあり、木材利用、国民の皆さんから求められる機能性に配慮した設計、地域の景観を考慮した色彩計画など、設計事務所や施工者、さまざまな分野の専門家、施設管理者と調整しながら“モノ”づくりできることにやりがいを感じています。官庁施設の改修や保全指導を行うことで長寿命化を図り、まちの身近な建築物を守ることもこの仕事の大きな魅力です。今後は企画や工事監理など幅広く経験を積み、関東地方整備局の職員として必要とされる知識を身につけ、さらに成長していきたいと考えています。

2018年度採用(技術)

名島 信人
Nobuto Nashima

営繕部 整備課 機械設計基準係長 **機械**

建物の快適性をマネジメントし、人々を支える仕事

機械職として、官庁施設の空調設備や給排水設備、消火設備、エレベーター設備といった建築設備の設計、工事を担当しています。法令や基準、社会的ニーズ、入居官署の要望等のさまざまな要件を満たせるように、設計事務所や施工者等、多くの関係者と協力して1つの建物を造り上げていくことが一番の魅力です。また、私は他業種からの転職でしたが、職場のサポート体制が整っているため、特に不安を感じることもなく業務に取り組むことができました。営繕の機械職は、空気や水といった快適に生活するために必要不可欠な要素を扱っています。そうした緑の下の力持ちとして人々を支える仕事に興味がある方は、ぜひ関東地方整備局を検討してみてください。

2024年度採用(技術)

有田 隆祥
Ryusho Arita

営繕部 整備課 環境係 **電気**

利用者に喜んでいただけることがこの仕事の喜び

電気設備の担当として、国の建物の新築や改修の設計、現場に赴いての設計意図伝達や施工者からの質疑に回答する業務を担当しています。実際の工事では、建物内の官署業務を止めずに施工しなければならず、多くの関係者と協議してさまざまな問題を乗り越える必要があります。しかし、それにより多くの利用者に喜んでいただける点や、設計図という平面で見ていたものが建物としてできあがる過程を目の当たりにできる点が、この仕事の魅力だと思います。情報系を専攻していたので電気設備は未知の分野でしたが、さらに知識を吸収して、多くの方々に喜んでいただける建物を作り上げられる人材を目指し、努力していきます。



令和5年台風13号 被災地でのドローン調査



令和5年台風13号 河川の被害状況調査



令和5年台風13号 自治体との打ち合わせ



訓練



研修

関東地方整備局の仕事05

防災 (TEC-FORCE)

1日も早い 被災地復興を支援。

関東地方整備局は、TEC-FORCE(緊急災害対策派遣隊)を平成20年に創設。大規模自然災害時に現地に飛び、被災地の復興を技術面でサポートすることが使命です。



2020年度採用(事務)
上野 颯大
Sodai Ueno
河川部 水政課

国民に寄り添える
職員になるために

令和5年台風13号の際、茨城県管理の二級河川・準用河川合計8河川の被災状況を調査し、まとめ、市役所等に報告する業務に携わりました。初めての派遣でしたが、被災地復興の一助を担えたことに大きなやりがいを感じましたし、住民の方から「暑い中お疲れ様」などの言葉をかけていただき、とてもうれしかったことを覚えています。災害が起こらないことが一番ですが、今後も派遣の機会があれば被災された皆さんに寄り添い、一日も早い被災地復興に携われるよう頑張りたいです。私の目標は、国民に寄り添うことができる職員になること。関東地整の業務は国民生活に大きく携わるものが多いため、皆さんに寄り添うことができるよう日頃から意識していきたいと思っています。



2004年度採用(技術)
池上 泰彰
Hiroaki Ikegami
河川部 河川工事課
河川係長

関東地整の仕事を選んで
良かったと実感

平成23年東日本大震災、平成27年関東・東北豪雨、令和5年台風13号と、計3回派遣を経験しています。災害申請資料作成が主な業務でしたが、台風13号では初めて現地での被災状況調査に参加。資料作成の経験から、「被災箇所ではどの位置で計測し、撮影するときは被災状況をいかにわかりやすく伝えるか」を意識して調査を行うことができました。関東・東北豪雨では鬼怒川が決壊し、【応急復旧工事施工のための申請書作成】【24時間施工の工事監督】【応急復旧堤防完成】【本復旧堤防工事の設計】【積算】【本復旧堤防完成】と、申請から本復旧まで一連の業務に携わり、大きな達成感を得るとともに、「この仕事を選んで良かった」と改めて実感しました。



1992年度採用(技術)
傳田 修司
Shuji Denda
川崎国道事務所
工務課 課長

経験したことを若い職員に
伝えていきたい

平成23年台風12号では奈良県十津川村へ、令和5年台風13号では茨城県日立市へ、TEC-FORCEとして派遣されました。台風13号では土砂崩れなどの被害を受けた県道や市道の状況を調査し、市役所等に報告する業務を担当しています。通常の道路拡幅や新設に関わる設計、積算、工事監督、道路管理といった業務も同様ですが、自分が携わった道路が供用し利用者や関係者の喜ぶ姿を見ると、それまでの苦労が報われる思いです。「便利になった」との言葉をいただいたときには、関東地整の職員で良かったと思います。今、関東地整では20代の職員が増えつつあります。こうした被災地での業務を含め自分の経験してきたことを、若い職員にも伝えていきたいと思っています。

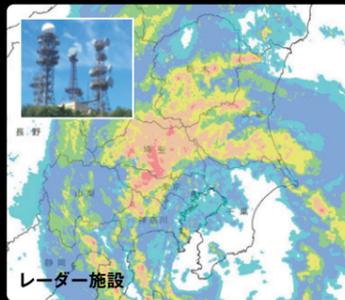
関東地方整備局の仕事06

デジタル・電気・電子

情報通信技術が 社会を支える。

最新の情報通信技術とネットワークで国土交通行政を支えています。

Electrical



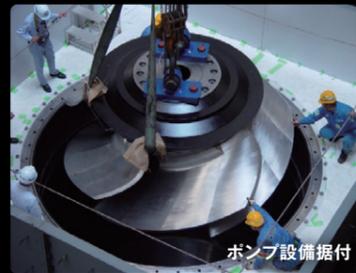
レーダー施設



川治ダム放流



水門設備工場立会い



ポンプ設備据付



LED 道路照明灯



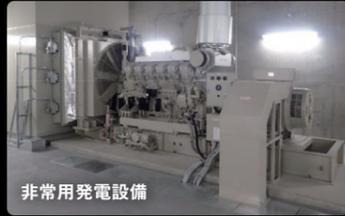
水門設備工場立会い



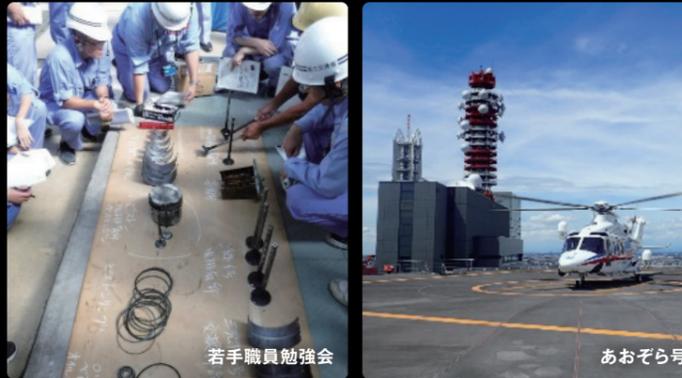
現地立会い



放流設備点検



非常用発電設備



若手職員勉強会

関東地方整備局の仕事07

機械

インフラを動かし 社会を支える。

確かな技術でインフラを正常に稼働させ、
安全で安心な暮らしを支えています。

Mechanical



衛星通信車



情報通信設備



TEC-FORCE の活動状況



道路情報板



トンネル照明設備



あおぞら号

2019年度採用(技術)
渋井 アスカ
Asuka Shibui
大宮国道事務所
交通対策課

大きな仕事を成し遂げたことは私の誇り

入省3年目、新三国トンネルの設備工事発注、監督補助を担当しました。開通に向けて、最終工程段階の照明、警報設備、監視カメラを設置する工事で、開通スケジュール厳守の大変な仕事でした。

しかトンネル開通後、ニュースやSNSで「新トンネルは綺麗」、「旧トンネルより明るくなった」等のコメントを見たとき、まるで自分が褒められたような、誇らしい気持ちになり、この仕事を選んで良かったなと強く感じました。

私1人では、このような地図に残る仕事は決して出来ませんでした。色々な人と協力して、大きな仕事を達成したことは私の誇りです。

2019年度採用(技術)
一ノ瀬 哲広
Akihiro Ichinose
甲府河川国道事務所
防災課

技術者として日々勉強・成長できることが魅力

河川と道路の混合事務所のためトンネルの照明や河川のカメラ等の工事発注や、電気通信設備の点検業務の発注などを行っております。私たちの仕事はデスクワークだけでなく、現場に行ったり、業者の方と打ち合せをしたりなど技術者として日々勉強・成長できるところが魅力です。また、河川や道路を管理していくなかで、私たちが担当している電気通信設備は非常に重要な役割を果たしており、必要不可欠な存在だと実感しています。電気通信という分野において、関東地方のインフラに携わってみたい、多くの人々の役に立つ仕事をしてみたいという方は、ぜひ一度説明会に足を運んでみてください。

2024年度採用(技術)
吉里 武留
Takeru Yoshizato
宇都宮国道事務所
管理第二課

経験を積みながら、自分の得意なことで活躍できる環境

現在、私は道路管理に欠かせない電気通信設備(カメラや道路照明など)の工事や点検の発注業務を担当しています。働き始めて驚いたのは、その設備の種類と数の多さです。最初は覚えることで精一杯でしたが、上司や現場の方々に教わりながら、日々知識と経験を積み重ねています。また、関東地方整備局では今、動画編集や生成AIなど、新しいツールを積極的に取り入れる動きが活発です。「公務員=堅い」というイメージがあるかもしれませんが、デジタルネイティブである私たち若手だからこそ活躍できるチャンスがたくさんあります。電気通信の分野でインフラを支える仕事をしたい方、新しいことに挑戦したい方はぜひ関東地方整備局と一緒に働きましょう。

2021年度採用(技術)
浦部 裕希
Yuuki Urabe
企画部 施工企画課
技官

若手が安心して挑戦できる職場

関東地方整備局は、幅広い経験を積むことのできる職場です。これまで河川の水門や排水機場に関する業務や、道路の交通事故対策に関する業務など、様々な業務に携わってきました。現在は、災害時に活躍するヘリコプターなどの災害対策用機械や、道路維持管理用車両の配備・運用業務を担当しています。機械職の魅力は、河川・道路といった分野にとらわれず、幅広い現場で活躍できることです。近年は若手職員の採用が増え、同年代の仲間と共に目標に向かって働ける環境が整っています。同期や先輩、上司に相談できる体制もあるため、不安なく挑戦を続けながら、自分の成長を実感できます。ぜひ関東地方整備局を検討してみてください!!

2022年度採用(技術)
狭間 紗耶香
Sayaka Hazama
東京国道事務所
施設管理課

サポート充実! 男女問わず大活躍!!

トンネルの消火設備や歩道橋のエレベーターなどの道路にある機械設備を管理するための工事や点検業務の発注を主に担当しています。デスクワークだけでなく、実際に現場へ行き、上司や先輩にサポートして頂きながら日々勉強しています。私たちが管理している施設が地域の暮らしに役立っていることを実感する度にモチベーションが上がります。女性の機械職員が少ない中で入省を躊躇している方もいるかもしれませんが、男女問わず活躍でき、ユーモアあふれる先輩からのサポートも充実しているためとても働きやすい職場です。機械職員として地域の暮らしに役立つ仕事に興味のある方はぜひ検討してみてください。

2021年度採用(技術)
本田 翔
Sho Honda
江戸川河川事務所
三郷出張所 係長

技術と発想で“安心”と“未来”を形にする仕事

私の勤務する出張所には日本トップクラスの規模を誇るディーゼルエンジン駆動による排水ポンプ設備があり、台風時には地域の浸水被害を防ぐために活躍しています。私の業務は操作指示等の現場対応と設備の更新計画立案や設計、工事の監督です。また、過去には建設業の生産性向上を目指すICT施工等の最先端技術の普及活動を担当しました。機械職は我々職員と建設会社の技術と発想で地域の方への“安心”を届け、建設業の“未来”を形にできる面白い仕事です。また、チームとしての一体感があり、互いに助け合える環境が整っています。皆様と一緒に素晴らしいものを形にできる日を心からお待ちしております!

関東地方整備局の仕事08

建政

活力あるまちづくりを担う。

自治体の再開発や都市計画の支援を通じ、安全で快適で活力のある街やすまい、憩いの場をつくるのが使命です。



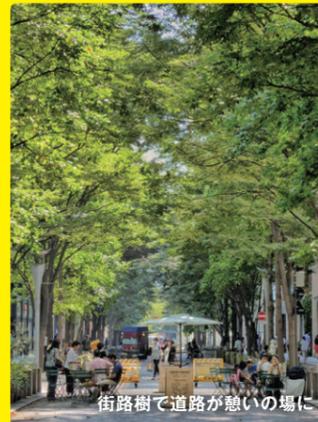
国営ひたち海浜公園コキアの花畑と観覧車



国営ひたち海浜公園ネモフィラ



長野県長野市(善光寺周辺地区)



街路樹で道路が憩いの場に



1998年度採用(事務)

古谷 美和
Miwa Koya

建政部 建設産業第一課
連携推進係長

異動のたびに経験や知識のピースがつながる

「建設キャリアアップシステム(CCUS)」は、建設技能者の処遇改善や将来の担い手確保のために整備された建設業界共通の制度インフラです。CCUSの普及・促進や幹部と関係団体の意見交換会の事前資料作成等を通じて、建設業界が抱える諸問題の解決に向けた業務の一端を担っています。以前担当していた防災教育と同様、一朝一夕に解決するものではありませんが、未来をより良くするための仕事であり、振り返った時に成果を実感できる点が醍醐味です。まさに「ローマは一日にして成らず」。所属部署は2~3年で異動しますが、そのたびに経験や知識のピースがつながり、関東地方整備局の仕事の広さと奥深さを感じます。



2009年度採用(技術)

繁野 祐治
Yuji Shigeno

建政部 都市整備課
企画調査第二係長

関東全域のまちづくりに携われるのが魅力

自治体が管理する都市公園の整備に関わる「社会资本整備総合交付金」の支援窓口を担当しています。国際的なイベントの会場となる大規模な公園整備から、街角にある公園の遊具の補修まで、幅広く担当しています。ひと口に都市公園の整備と言っても、規模の大小や公園施設によって取り組みはさまざま。特に公園施設内の体育館など大規模施設の整備について自治体から相談を受けることがありますが、どうしたら目的を達成できるか、国としてどんな支援ができるのかを一緒に考えるところに面白さを感じています。管内自治体のまちづくりに技術面や予算面での支援を通して、関東全域のまちづくりに携われることができる。そこが関東地整の仕事の魅力だと思います。



2005年度採用(技術)

柞山 このみ
Konomi Housayama

建政部 都市整備課
技術指導係長

多岐にわたる業務を経験し成長できる

自治体が行うまちづくり支援の中で、都市防災等に関わる業務を担当しています。近年は災害が激甚化し、防災・安全の意識が高まっている中で、業務の実施を通して防災・減災に寄与できたときは、大きなやりがいを感じます。私自身、ダム建設や流域治水プロジェクトなどの事業規模が大きいものから、ダム管理をはじめとする緻密な仕事、現在の自治体のまちづくり支援など、さまざまな業務を担当してきました。国の事業のみならず多岐にわたる仕事に関われることは、自らの経験値UPになると思います。

関東地方整備局とは

Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism. Kanto Regional Development Bureau.

首都圏を擁する関東。その安全・安心・快適な暮らしを支え、守ること。それが使命です。



河川や道路、ダム、港湾空港、公共施設の建築、まちづくり、それらを支える電気、機械など、幅広い事業を通じて、関東に生きる人々の暮らしを守り、支え、継続させていくこと。首都機能を維持し活性化させること。それが、関東地方整備局の使命です。

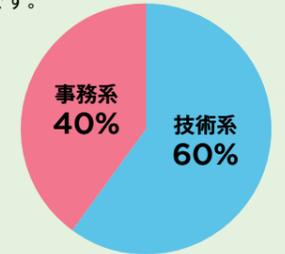


フィールド

関東地方整備局は、関東地方の茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、山梨県、長野県を管内とし、53の事務所と約120の出張所から構成されています。

職員数と人員構成

関東地方整備局全体で約4,000人の職員がおり、約4割が事務系職員、約6割が技術系職員です。



国土交通省



- 1 利根川上流河川事務所
- 2 利根川下流河川事務所
- 3 霞ヶ浦河川事務所
- 4 霞ヶ浦導水工事事務所
- 5 江戸川河川事務所
- 6 渡良瀬川河川事務所
- 7 下館河川事務所
- 8 荒川上流河川事務所
- 9 荒川下流河川事務所
- 10 荒川調節池工事事務所
- 11 京浜河川事務所
- 12 久慈川緊急治水対策河川事務所
- 13 利根川水系砂防事務所
- 14 日光砂防事務所
- 15 富士川砂防事務所
- 16 利根川ダム統合管理事務所
- 17 鬼怒川ダム統合管理事務所
- 18 相模川水系広域ダム管理事務所
- 19 二瀬ダム管理所
- 20 品木ダム水質管理所
- 21 東京国道事務所
- 22 相武国道事務所
- 23 首都国道事務所
- 24 川崎国道事務所
- 25 横浜国道事務所
- 26 大宮国道事務所
- 27 北首都国道事務所
- 28 千葉国道事務所
- 29 常総国道事務所
- 30 宇都宮国道事務所
- 31 長野国道事務所
- 32 東京外かく環状国道事務所
- 33 関東道路メンテナンスセンター
- 34 常陸川国道事務所
- 35 高崎川国道事務所
- 36 甲府川国道事務所
- 37 関東技術事務所
- 38 国営常陸海浜公園事務所
- 39 国営昭和記念公園事務所
- 40 東京第一営繕事務所
- 41 東京第二営繕事務所
- 42 甲武営繕事務所
- 43 宇都宮営繕事務所
- 44 横浜営繕事務所
- 45 長野営繕事務所
- 46 鹿島港湾・空港整備事務所
- 47 千葉港湾事務所
- 48 京浜港湾事務所
- 49 東京港湾事務所
- 50 東京空港整備事務所
- 51 東京湾口航路事務所
- 52 特定離島港湾事務所
- 53 横浜港湾空港技術調査事務所

- 河川事業担当事務所
- 道路事業担当事務所
- 河川・道路事業担当事務所
- 技術事務所
- 公園事業担当事務所
- 営繕事業担当事務所
- 港湾・空港事業担当事務所

仕事の流れと担当

関東地方の安心・安全・豊かな生活のために、関東地方整備局では事務官と技官が連携して業務を進めています。

事業を進める



地域・業界を支える

防災 (事務)

- ◆災害を未然に防止
- ◆発災時は迅速な情報収集で早期復旧へ

都市・住宅 (事務)

- ◆地域のまちづくり、すまいづくりを支援

業行政 (事務)

- ◆建設業界の健全な発展に向けた許認可業務、指導・監督を実施

技術開発 (技術)

- ◆新技術の導入や開発で事業の安全性や効率化向上を目指す

組織・職員を支える

総務・厚生・人事 (事務)

- ◆職員の人事管理、給与、研修や福利厚生など、職員の処遇と職場環境に関する業務

経理・財産管理 (事務)

- ◆入札等による施工業者の決定、契約という対外的な業務のほか、予算管理・国有財産管理という内部管理業務も担当

研修制度

| 技術系 | 事務 |
|--|---|
| <p>新規採用職員研修</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国家公務員としての任務、心構え、業務の基礎知識習得 ・公務員制度、公務員倫理、電話対応、情報セキュリティ等 | <p>事務職員研修 (入省2年目)</p> <p>事務系職員として業務を行う上で必要となる行政実務を習得</p> |
| <p>建設技術初級研修 (入省1年目)</p> <p>技術系職員として業務を行う上で必要となる専門分野(河川・道路・港湾)等の基礎知識を習得</p> | <p>一般職員クラス(基礎育成)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーション能力、プレゼンテーション能力など、実践的スキル・資質の向上 ・各分野に係わる基礎知識・技術の習得 |
| <p>【研修内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・河川管理基礎 ・道路管理基礎 等 | <p>【研修内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・法律基礎講座 ・契約基礎 等 |
| <p>【研修内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道路計画 ・河川計画 等 | <p>一般職員クラス(応用能力育成)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マネジメント能力、問題解決能力等のスキル・資質の向上 ・各専門分野に係わる専門知識・技術の習得 |
| <p>【研修内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害査定 ・道路マネジメント ・河川マネジメント 等 | <p>【研修内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・用地、土地評価 ・建設産業行政 等 |
| | <p>管理職クラス(管理能力育成)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・危機管理能力、部下育成等の基礎知識の習得 ・各専門分野に係わる高度な専門知識・技術の習得 |
| | <p>【研修内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入札契約制度 ・用地指導 等 |

●入省1年目～4年目にはほかに、技術系職員を対象に業務執行をサポートする「技術系若手職員育成プログラム」を実施します。



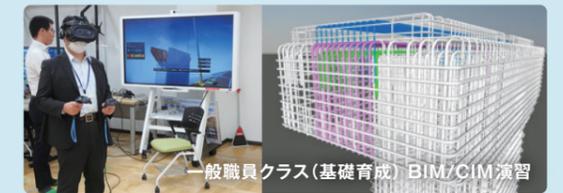
研修以外にも新規採用職員レクリエーションで同期との親睦を図っています。



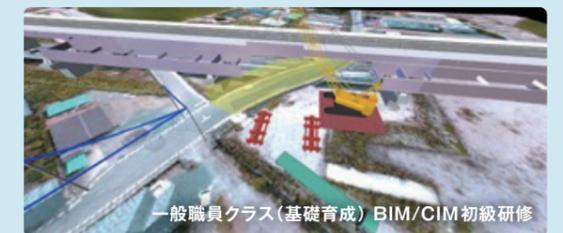
新規採用職員研修



建設技術初級研修



一般職員クラス(基礎育成) BIM/CIM 演習



一般職員クラス(基礎育成) BIM/CIM 初級研修



一般職員クラス(基礎育成) ICT施工初級研修

勤務条件

●勤務時間
8:30～17:15
(特別区、さいたま市、横浜市、川崎市内の勤務官署は9:15～18:00)

●休日
土日および祝日(完全週休2日)、12/29～1/3、
年次休暇は初年度15日、翌年から20日(年20日まで翌年に繰越可能)
その他、結婚休暇、夏季休暇、出産休暇、ボランティア休暇、介護休暇など

採用状況

| 大卒 | | | | | | | | | | | 高卒 | | | | | |
|----|----|----|--------|----|----|----|----------|----|----|----|----|----|------|----|------|----|
| 区分 | 行政 | 土木 | 農業農村工学 | 農学 | 林学 | 機械 | デジタル電気電子 | 建築 | 物理 | 化学 | 教養 | 区分 | 行政事務 | 技術 | 農業土木 | 林業 |
| R6 | 31 | 40 | 1 | 6 | 5 | 3 | 4 | 4 | 0 | 2 | | R6 | 27 | 23 | 10 | 1 |
| R7 | 22 | 30 | 0 | 6 | 0 | 5 | 5 | 4 | 4 | 0 | ※ | R7 | 24 | 21 | 4 | 2 |

※教養試験はR8年度採用より実施しています。

Work Life Balance

ワークライフバランス

結婚、子どもの誕生、家族の介護など、人生の変化のタイミングでも仕事が続けられるように、ワークライフバランスの推進に取り組んでいます。仕事と家庭の両立を支援することで、誰もが働きやすく、長く活躍できる職場づくりを行っています。



子育て支援



産前・産後休暇

産前6週間前^(※)～産後8週間まで取得できます。
※多胎妊娠の場合は14週間前

育児休業

3歳未満の子どもを養育するために、最大3年休業できます。

子の看護休暇

未就学児の看護のための休暇を、年5日間^(※)取得できます。
※子が2人以上の場合は年10日間

育児短時間勤務

未就学児を養育するために、1日の勤務時間を3時間55分(週19時間35分)等に短縮できます。

配偶者出産休暇

出産に伴う入院の付き添いなど、妻をサポートするための休暇を計2日間取得できます。

育児参加のための休暇

妻の出産から1年間^(※)、生まれた子を含む未就学児を養育するために計5日間の休暇を取得できます。
※第2子以降は産前6週間前から産後1年間

育児時間

未就学児を養育するために、1日の勤務時間の一部(2時間まで)または年10日相当の期間について勤務しないことが可能です。

働き方支援



フレックスタイム制

総勤務時間を変えずに、日ごとの勤務時間数・勤務時間帯を変更できます。

早出遅出勤務

子の送り迎え、家族の介護等のために、始業・終業時間を繰り下げ、または繰り上げることができます。

テレワーク

自宅等で仕事ができ、それぞれのライフスタイルに合わせた働き方ができます。

休憩時間の短縮

未就学児の養育・家族の介護・妊娠中の体調管理等のために、休憩時間を短縮して、職場にいる時間を短くできます。

年次休暇の柔軟な取得

15分単位で年次休暇を取得できます。個人の都合に合わせて休暇の時間を柔軟に決めることができます。

住居

地域の賃貸住宅よりも経済的な公務員宿舎に入居できます。民間の住宅を借りる場合は、最高28,000円の手当が支給されます。

介護支援



介護休暇

家族の介護のために、通算6カ月^(※)の期間内において勤務しないことが可能です。
※3回まで分割可能

介護時間

家族の介護のために、最大で3年の期間内において1日の勤務時間の一部(2時間まで)を勤務しないことが可能です。

短期介護休暇

家族の介護のための休暇を、年5日間^(※)取得できます。
※要介護者が2人以上の場合は年10日間

制度は全職員が取得可能

上記制度は、一部を除き男性職員・女性職員全員が活用できます。その他、業務軽減や保育時間、深夜勤務・超過勤務制限など、ワークライフバランスを実現する多数の制度があります。

INTERVIEW

周りの理解、サポートに支えられて——育児休業取得者インタビュー



Interview 01

柘植 由貴子
Yukiko Tsuge

Q.育児休暇取得にあたり、上司、同僚の反応は?

私は2018年11月～2021年4月まで育児休業を取得しました。上司からは「仕事のことは気にせず、子育てを楽しんで!」と温かい言葉をいただきました。長期休暇を取得する身としては、周囲の理解が何より心強かったです。

Q.育児を取得したからこそ気付けたことは?

「子どもの成長はあっという間」ということです。首が座ったと思ったら寝返りをして、ハイハイしたかと思ったらすぐ歩いている。成長の瞬間を近くで見守ることができて、本当に良かったと思います。

Q.育児取得を検討している方にメッセージをお願いします

男性・女性に限らず、もし仕事を気にして育児取得に消極的なら、「仕事は組織で動かしているから大丈夫」と伝えたいです。だから、心配せずに絶対に取得すべきだと思います!



Interview 02

小倉 蘭美
Mayumi Ogura

Q.利用したことのある制度を教えてください

産前産後休暇・育児休業・子の看護休暇を利用しました。子どもが小さいときは、子どもの体調不良で休まなければならないことが多いので、看護休暇はありがたかったです。

Q.仕事と子育ての両立で苦労した点は?

子どもの体調不良で思うように仕事が進められないことがあるので、先のことを考慮しつつ「今日は何をどこまで、この時間までにやる」と決めて実践していました。今はテレワークを活用できるので、当時よりも働きやすくなっています。

Q.子育てを通じて、仕事に良い影響はありましたか?

仕事に費やせる時間が限られているので、その中で成果を上げられるよう意識するようになりました。また、何事も「自分だけが知っている」状態にしないよう、常に周り人とコミュニケーションして情報共有しています。



Interview 03

小柳津 聡
Satoshi Koyanatsu

Q.子育て支援制度をどのように活用しましたか?

第一子の誕生時に、夏季休暇に合わせて育児参加休暇と育児休業を取得しました。約1カ月間しっかり育児に参加することができ、わが子の日々の成長を間近で見ることができました。

Q.上司、同僚の反応はいかがでしたか?

実は、休暇を取得したのは異動4カ月目の、仕事にやっと慣れてきたというタイミング。育児休業取得にはためらいもありましたが、むしろ上司が積極的に背中を押してくれて安心しました。快く送り出してくれた同僚にも感謝しかありません。

Q.育児休業を取得して良かったと思う点は?

妻への感謝の気持ちと、夫婦の絆が強くなったことです。妻からも「初めての子育てと一緒に頑張ってくれて安心」と言ってもらえて、とても嬉しかったですね。家族が増えたことで仕事へのモチベーションも上がりました。



Interview 04

河合 航平
Kohei Kawai

Q.育児取得を決めた理由は?

実は第一子が誕生した頃は、今ほど男性職員の育児取得が進んでいませんでした。ですが、待望の子どもということもあり「妻と協力して子育てしたい」「授乳以外の家事はできる」と思い、取得を決意したんです。所属長をはじめ、周りも歓迎してくれて安心して取得できました。

Q.どのくらいの期間、休業しましたか?

第一子のときが6カ月間、第二子のときが1カ月です。どちらのときも、信頼できる同僚がいたので職場を離れること自体に不安はありませんでした。復帰するときも温かく迎えてもらえました。

Q.子育てを経験しての感想を教えてください

子どもの成長というのは自分の予想を大きく超えて、毎日が驚きの連続。特に年齢が小さいうちは、一緒にいる時間がかげがえのないものになります。その成長を肌で感じることでできたことは、言い表せないくらい幸せです!



若手職員の1日



大宮国道事務所 用地第一課 (事務)
小池 優作
Yusaku Koike

2021年度採用。公共事業に必要なとなる用地について土地所有者へのご説明・事業へのご協力をお願いする「用地交渉」、それに伴う資料作成、補償金額の算定などを担当しています。



川崎国道事務所 工務課 (技術)
鹿間 美咲
Misaki Shikama

2023年度採用。国道357号(有明・東雲・辰巳立体、多摩川トンネル)、国道246号(厚木秦野道路)の工事発注、積算、変更手続きを担当しています。上司や先輩、施工者さんから学ぶことも多く、知識が増えていくのが楽しい毎日です。

徒歩で通勤。朝のルーティンはメールチェック、打ち合わせの準備、用地交渉のための書類確認です。書類を用いた説明が多いので入念にチェックします。

9:15

10:00 WEBで取引先の担当者と打ち合わせ。スムーズに仕事を進めるために、外部の方とのコミュニケーションも大切にしています。

10:00



普段は仕出しのお弁当が多いですが、午後に交渉があるときは現場が遠いので、外食後、そのまま現場に出かけることも。

12:00

14:00 交渉前に現場を確認。その後、土地所有者の方とお会いして説明、話し合いを行います。仕事で疑問に思ったことはすぐ上司や先輩に聞き、学び、参考にして説明に生かすようにしています。

14:00



交渉の結果を課長に報告。課内で共有するための資料を作成してこの日の業務は終了。

18:00

Private

長めの休暇には友人たちと旅行、冬にはスノボを楽しんでいます!



用地交渉の対象となる方々は一般の方が多く、土地売買について詳しい方は多くありません。それだけに事業や補償内容について一から説明し、納得してご契約いただいたときには、勉強してきたことが結実したと実感でき、やりがいを感じます。これからも経験や勉強を積んで自立した責任ある仕事ができるよう頑張ります!

電車(田園都市線)で出勤。出勤したらまずメールチェック、打ち合わせの準備を行います。

9:15

10:00 所内で打ち合わせ。1週間の予定や現在の業務の進捗、これから発注予定の工事内容の確認を行います。

10:00



11:00 工事発注手続きに関する書類を作成します。図面や工事内容など分からないことがあれば先輩が丁寧に教えてくれます。

11:00

12:00 普段はお弁当を持参していますが、若手で事務所周辺のご飯屋さんを開拓中。現場に行くときは外食してそのまま出かけています。

12:00



14:00 工事発注のために現場を確認。現場の状況と図面が合っているか、発注箇所没有问题かを確認します。現場で分かることも多いため、疑問に思ったことはすぐ上司に聞き、知識をつけて工事発注の準備をしていきます。

14:00



18:00 現場の確認結果を書類にとりまとめ、明日の業務のタスクの確認後、退庁。

18:00

Private

休日は、スポーツ観戦していることが多いです。また、実家で飼っている犬と猫と遊んでまったりすることも多いです。

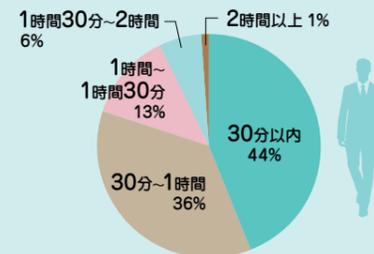


工事の積算や発注手続きがメインの業務であるため、現場に行く機会があるときはなるべく参加しています。現場では、施工者さんや監督職員の方から施工内容についてご教示いただき知識をつけています。後輩や他事務所の若手が現場見学する際は、自分の言葉で施工内容について説明することでさらに知識を深めています。今後も様々なことに挑戦し、経験を積んで一人前の技術者になれるように頑張ります。

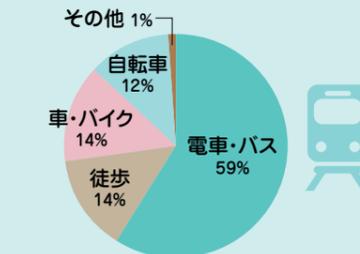
若手職員アンケート

通勤 & 住宅事情

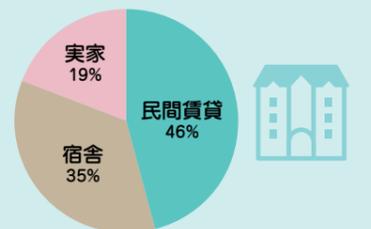
Q 通勤時間は?



Q 通勤手段は?



Q 住宅事情は?



入省の動機

Q 関東地整を選んだ理由 TOP10!

- 1 安定していそうだから
- 2 やりたい仕事ができそうだったから
- 3 社会貢献性が高そうだから (同数2位)
- 4 国家公務員だから
- 5 福利厚生が良かったから
- 6 面接官や職員などの人柄が良かったから
- 7 「国土交通省」というブランドが好きだから
- 8 希望する勤務地だったから
- 9 将来性がありそうだから
- 10 職員や職場の雰囲気が魅力的だったから

入ってみて

Q どのくらいで職場に慣れた?

- 1週間以内.....2%
- 1カ月以内.....22%
- 3カ月以内.....35%
- 半年以内.....31%
- 1年~3年程度.....3%
- まだ慣れてない.....7%

3カ月程度で60%以上、半年で約90%の方が慣れたと回答!

Q 仕事上の悩みの相談相手は?

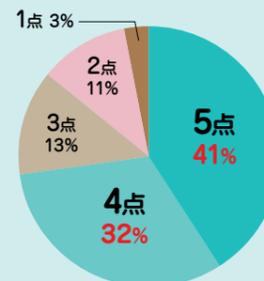
- 同期・同僚.....41%
- 職場の上司・先輩.....32%
- 家族・恋人達.....13%
- 友達.....11%
- その他.....3%

職場の同期や上司・先輩と回答した人が70%以上!

Q 採用後、ギャップを感じたことは?

- 思っていたより、重要な部分の仕事任せられた。若手も意見を出しやすい、受け入れてもらいやすいと感じた。
- 現場見学会や交流会などのイベントが多くあるため、同じ事務所以外の方とも仲良くなれたことです。
- 入省前に想像していたよりも仕事の幅が広いこと。自分の専門分野以外の業務にも携わる機会が多い。
- お堅い雰囲気、静かな職場だと思っていたが全然違った。仕事以外の話も結構します。また、服装や髪形も自由度が高いと感じました。
- 事務官・技官は完全に仕事に分かれているのかと思ったが、互いに協力し合いながら業務を進めていく部分が多い。
- 年次休暇の取りやすさやフレックス制度による勤務時間の調整ができ、プライベートの時間を確保できる。

Q 働いてみての満足度は?(5点満点)



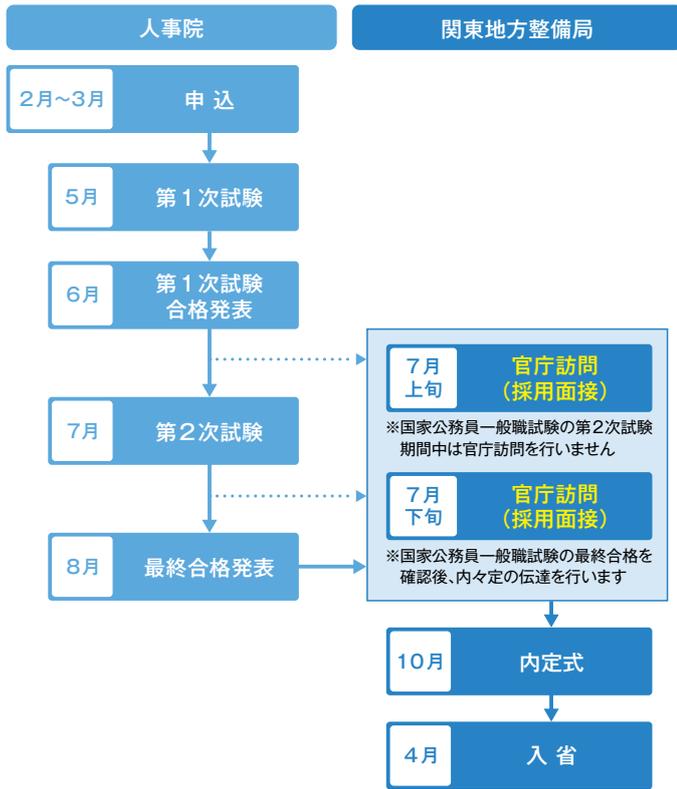
70%以上が、満足度5点&4点!

- 5点 ●やりがいのある大きな規模の業務に携われ、休日は同期と遊びに出かけ、上司の方とはマラソン大会に出場するなど雰囲気がよい環境で働かせていただいているからです。
- 4点 ●規模の大きなインフラ事業や、国土交通省という人数の多い大規模な省庁のネットワークや様々なシステム等に携わる機会が多く、国土において災害があった場合は、TECなどにより現地に赴いたり、広報支援を行うなど、全てにおいて仕事が目に見えて大規模なため、非常にやりがいを感じる。

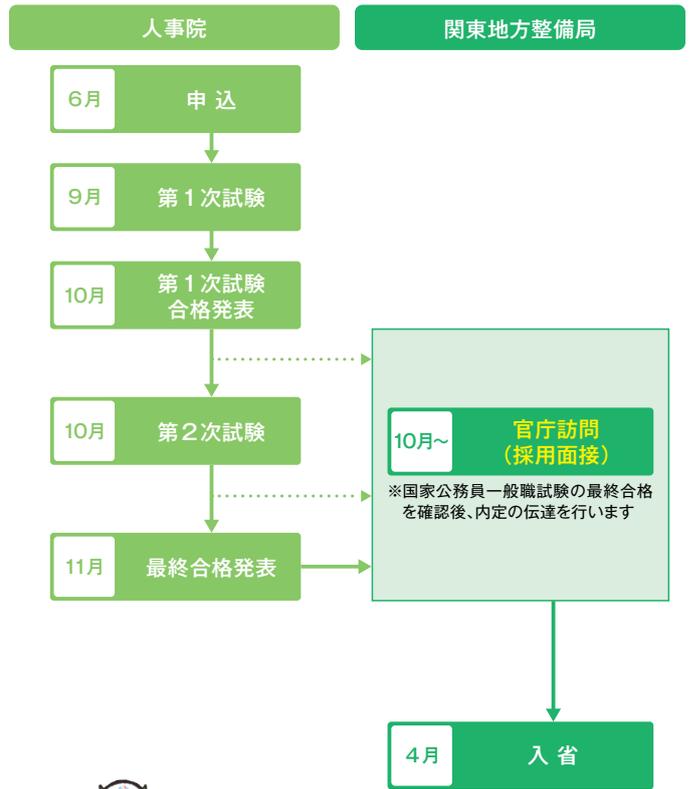
採用スケジュール 国家公務員一般職試験

※最新情報は人事院HPをご確認ください。

大卒程度



高卒・社会人経験者(係員級)



関東地方整備局 位置図

さいたま庁舎

統括防災グループ/総務部/
企画部/建政部/河川部/
道路部/営繕部/用地部

【建設部門】

河川、道路、建政、営繕、
デジタル・電気・電子、
機械、防災

〒330-9724
埼玉県さいたま市中央区新都心2-1
さいたま新都心合同庁舎2号館

- 事務系/総務部人事課採用担当
048-600-1322 (直通)
- 技術系/企画部企画課採用担当
048-600-1329 (直通)



Google map ▲

横浜庁舎

港湾空港部

【港湾・空港部門】

港湾、空港

〒231-8436
神奈川県横浜市中区北仲通5-57
横浜第二合同庁舎

- 事務系/総務部人事課採用担当
045-211-7409 (直通)
- 技術系/港湾航空部港湾事業企画課採用担当
045-211-7417 (直通)



Google map ▲



採用サイト

関東地整 採用 検索
<https://www.ktr.mlit.go.jp/recruit/>



X

国土交通省 関東地方整備局 採用
@mlit_kanto_rec



Instagram

【採用担当】関東地方整備局
(国土交通省) 公式
@mlit_kanto_rec